

第 6 6 2 回建設技術講習会の概要



鹿児島北バイパス整備事業（完成イメージ）

業務に直結！道路、港湾・漁港行政における最新施策と具体的な事例

○開催日：令和2年2月19日（水）～2月21日（金）

○開催場所：鹿児島県鹿児島市

○テーマ：道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題

～道路行政及び港湾・漁港行政施策の最新情報と重要施策の具体的な取り組みについて学ぶ～

○主な講演内容

- ・「「令和」の建設行政と公務員技術者について」！谷口元国土交通事務次官が講演！
- ・老朽化対策、防災、ITSの動向など道路行政における最新施策と今後の動向
- ・i-Constructionの取組み、防災、維持管理など港湾・漁港行政の最新施策と今後の動向

○現場研修

- ・海上に橋梁を新設「鹿児島北バイパス整備事業（祇園之洲橋（仮称））」を視察！
- ・大水深に対応して浮防波堤を設置。H29年全建賞を受賞！「牛根麓漁港浮防波堤」
- ・踏切、変形5差路の渋滞緩和と安全確保。バイパスの高架事業が最盛期！「街路事業 新町線2」

○交流会（参加予定講師） ※今後予定が変更する場合があります

- ・（一財）建設業技術者センター 谷口講師 ・（公社）土木学会 吉田講師
- ・国土交通省 中屋講師、米村講師、阿部講師、野呂講師

全建発第1～274号
令和元年12月13日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和 印省略

第662回建設技術講習会(道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題)の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の貫徹に向けた取り組み、AI やロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第662回建設技術講習会では、道路行政では、最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例、ICTを活用したITSの推進など、港湾・漁港行政では、最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設を核とした地域振興、港湾事業におけるICT活用、国際競争力の強化などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和

印省略

第662回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、令和2年2月19日（水）～21日（金）、鹿児島市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、道路行政では最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例、ICTを活用したITSの推進等、港湾・漁港行政では最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設を核とした地域振興、港湾事業におけるICT活用、国際競争力の強化等について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は鹿児島県・鹿児島市（予定）の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,740円	13,648円	13,648円	13,648円
鹿児島県内の国・県に勤務	13,648円	2,037円	2,037円*2	—
鹿児島県内の市町村に勤務	2,037円	0円	—	—
九州地区連合会管内の市町村に勤務*1	18,740円	2,037円	—	—
30歳未満	18,740円	2,037円	—	—
学生	0円	—	—	—

*1 政令市職員は除く、*2 特別会員は開催県内勤務または在住の者

※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格（2,037円）で参加の場合、取り消しはできません。

※平成30年度より「地区連割」を実施しています。

③現 場 研 修 料：7,900円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「662」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申 込 締 切 日：令和2年1月22日（水）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	令和2年2月7日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	令和2年2月14日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD（継続教育）制度」及び「CPDS（予定）」の認定講習会です。

【聴講／現場】全建：8.5単位／2.75単位、CPDS：（未定）

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

主催：（一社）全日本建設技術協会、鹿児島県、鹿児島市（予定） 後援：国土交通省

第662回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）日程
～道路行政及び港湾・漁港行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組みについて学ぶ～

（道 路）最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例、ICTを活用したITSの推進 等
（港湾・漁港）最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設を核とした地域振興、港湾事業におけるICT活用、国際競争力の強化 等

会場 …… 【合同／（2日）道路】かごしま県民交流センター（中央1F 県民ホール）
【（2日）港湾・漁港】 ” （東棟3F 大研修室第1）
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 TEL099-221-6600代

(1日目) 開場11:40		令和2年2月19日(水)		【合同】県民ホール		(敬称略)	
12:40 }	あいさつ	鹿児島県知事	三反園	訓			
13:00		鹿児島市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	森 泊	博 幸 宏			
13:00 }	「令和」の建設行政と公務員技術者について	(一財)建設業技術者センター 理事長	谷 口	博 昭			
14:30							
14:40 }	いま社会資本に何が求められているのか ～つながる技術と仕組み、アウトプットからプロセスへの時代へ～	(公社)土木学会 「ITSとインフラ・地域・まちづくり」研究小委員会 幹事委員 ((株)スマートインフラ総合研究所 所長)	吉 田	正			
15:40							
15:50 }	【地域事業の紹介①】 鹿児島東西道路及び鹿児島北バイパスの整備について	国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所 所長	鈴 木	淳			
16:20							
16:20 }	【地域事業の紹介②】 牛根麓漁港の整備について	鹿児島県大隅地域振興局建設部河川港湾課 港湾漁港係 技術主幹兼係長	上 田	猛 志			
16:50							
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞ (18:00～19:30(予定))		ホテルレクストン鹿児島アネックス 2階「クローバー」 TEL099-222-0505					
(2日目) 開場 9:00		2月20日(木)		【道路部門】県民ホール		(敬称略)	
9:40 }	道路の老朽化対策の取り組みについて	国土交通省道路局国道・技術課 道路メンテナンス企画室 課長補佐	中 屋	正 浩			
10:40							
10:50 }	道路行政における主要政策課題について	国土交通省道路局企画課 企画専門官	米 村	享 紘			
11:50							
13:00 }	高度道路交通システム (ITS) を巡る最近の動向について	国土交通省道路局道路交通管理課 高度道路交通システム推進室 企画専門官	野 津	隆 太			
14:00							
14:10 }	道路の防災対策について	国土交通省道路局環境安全・防災課 道路防災対策室 課長補佐	石 渡	史 浩			
15:10							
15:20 }	道路交通安全施策をめぐる最近の動向について	国土交通省道路局環境安全・防災課 道路交通安全対策室 課長補佐	近 藤	弘 嗣			
16:20							
16:20 }	閉会のあいさつ	鹿児島県土木部 技術次長	野 仲	典 理			
(2日目) 開場 9:00		2月20日(木)		【港湾・漁港部門】大研修室第1		(敬称略)	
9:40 }	漁港漁場行政における最新情報について	水産庁漁港漁場整備部計画課 課長補佐	中 村	克 彦			
10:40							
10:50 }	港湾行政における主要政策課題と「PORT 2030」について	国土交通省港湾局計画課企画室 課長補佐	阿 部	遼 太			
11:50							
13:00 }	港湾事業におけるi-Constructionの取り組みについて	国土交通省港湾局技術企画課 港湾工事安全推進官	野 呂	茂 樹			
14:00							
14:10 }	港湾施設の維持管理に関する取り組みについて	国土交通省港湾局技術企画課 港湾工事安全推進官	四 家	弘 行			
15:10							
15:20 }	昨今の災害による港湾の被災状況と対応	国土交通省港湾局海岸・防災課災害対策室 課長補佐	谷 上	正 晃			
16:20							
16:20 }	閉会のあいさつ	鹿児島市郡山支所 所長	上 村	一 夫			
(3日目) 集合 8:00～		2月21日(金)		【現場研修】		(敬称略)	

J R鹿児島中央駅西口ロータリー（8:30）出発
→ 鹿児島北バイパス整備事業（下車説明） → 鹿児島東西幹線道路建設事業（車中説明） → 昼食（鹿児島市内）
→ 牛根麓漁港浮防波堤 [H29年全建賞]（下車説明） → 街路事業 新町線2（下車説明）
→ 鹿児島空港（15:30）／J R鹿児島中央駅（16:10）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD（継続教育）制度・CPDS（予定）認定プログラム 【聴講／現場】全建：8.5単位／2.75単位、CPDS：（未定）

第662回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 鹿児島北バイパス整備事業

..... 鹿児島市吉野町～小川町

- ・国道10号は、北九州を起点として、大分、宮崎を経由し、鹿児島市に至る延長約450kmの東九州を縦断する重要な幹線道路。
- ・「鹿児島北バイパス」は、鹿児島市吉野町から小川町に至る延長約5.3kmの4車線のバイパス事業。
- ・現道は2車線で、慢性的な交通混雑が発生。また、鹿児島市内と県内各拠点間の物流を担う重要な路線であるが、狭幅員箇所やS字クランク箇所など、大型車が離合困難な箇所が存在。これら交通混雑の緩和や物流の効率化等を目的として実施する事業。



2. 牛根麓漁港浮防波堤〔H29年全建賞〕

..... 垂水市牛根麓

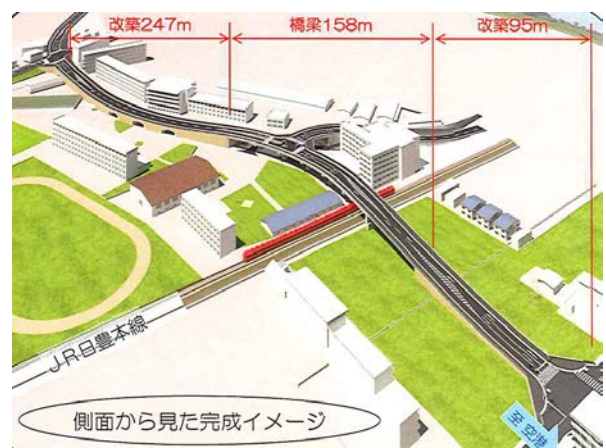
- ・鹿児島を代表する桜島は、1914年の大正大噴火のときに流下した溶岩により海峡が埋め立てられ、大隅半島の垂水市と陸続きになった。牛根麓漁港は、その接続部にできた水深が深く楔状の海域を利用した天然の良港。
- ・漁業活動に必要な岸壁、用地が不足し、陸揚げは漁協や漁業者が建設した専用棧橋を利用し、漁船の係留は沖停泊によるなど、危険で非効率な漁業活動を強いられている。
- ・防波堤や公共岸壁、用地の整備を計画し、先行して静穏度を確保するための北防波堤を設置した。
- ・海底地形が急峻で最深部の水深が90m以上と深く、北防波堤の桜島側57mを除き、基礎が必要ない浮防波堤形式で、 $L=55\text{m} \times 3$ 基配置した。
- ・この事業は、水中ロボットと大型起重機船のGPS機能を用いて設置水深90mの場所に当初計画通りの精度でアンカブロックを設置した点や、浮体構造のため海水交換が行われやすく、漁港内の良好な水質環境の維持が図られ、漁港の衛生管理にも貢献している点、海面から天端までの高さも70cmと海面と一体性があり、背後の桜島等の景観に溶け込んでいる点が評価され平成29年全建賞を受賞。



3. 街路事業 新町線2

..... 霧島市隼人町

- ・大隅半島と鹿児島空港を結ぶ重要な幹線道路。
- ・現道は、変形5差路交差点や踏切が、車両の円滑な通行の障害となっており、慢性的な渋滞が発生している。
- ・都市計画道路のバイパス部が未改良であり、交通ネットワークの連続性が確保されず、交通のネックとなっていた。
- ・バイパス整備により、変形5差路交差点及び踏切を通行する必要がなくなり、渋滞緩和と安全性の向上が図られる。



第662回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 斡 旋：宿泊希望者には鹿児島市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込締切後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

令和2年2月18日(火)、19日(水)、20日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
サンフレックス鹿児島 鹿児島市堀江町19-14 Tel 099-225-5511	シングル	40名	6,500円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第 6 6 2 回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時： 令和2年2月19日（水） 18：00～19：30（予定）
（第662回建設技術講習会 1日目講義終了後）

場所： ホテルレクストン鹿児島アネックス
2階「クローバー」

会費： 2,000円（講習会受付時に徴収）

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
※この交流会は会費制です。
※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|------------------------------|----------|
| ・ (一財)建設業技術者センター 理事長 | 谷口 博昭 講師 |
| ・ (株)スマートインフラ総合研究所 所長 | 吉田 正 講師 |
| ・ 国土交通省国道・技術課道路メンテナンス企画室課長補佐 | 中屋 正浩 講師 |
| ・ 国土交通省港湾局技術企画課 港湾工事安全推進官 | 野呂 茂樹 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し（予定）
※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

令和 年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名、会社名)

第662回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）申込書

＜個人情報の取扱いについて＞
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込					
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		(非会員)	会員	正会員 30歳未満	道路	港湾 漁港			予約日に○を記入して下さい					
										2月 18日	19日	20日			
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
聴講料 ※一般／会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,740円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,648円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,037円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元及び地区連管内の市町村)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く) 現場研修料 名×7,900円＝ 円 計 円										現場研修の昼食は不要の申し出はできません※			宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、“○禁”、“○喫”のように記入してください。		

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までにメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,037円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。